

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-374352
 (43)Date of publication of application : 26.12.2002

(51)Int.Cl. H04M 3/42
 G10L 19/00
 H04M 3/53
 H04M 11/10

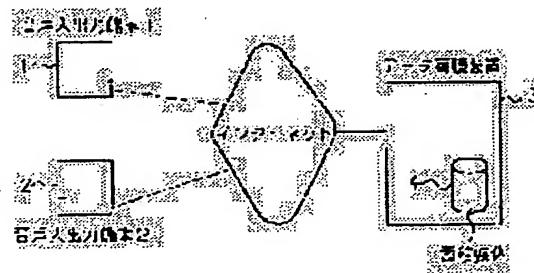
(21)Application number : 2001-182438 (71)Applicant : NEC COMMUN SYST LTD
 (22)Date of filing : 15.06.2001 (72)Inventor : ISHII SHINICHI

(54) SYSTEM AND METHOD FOR AUTOMATIC ANSWER RECORDING SERVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an automatic answer recording service system, with which efficiency of internet connection is improved and ease in securing the capacitance of a data storage medium is secured.

SOLUTION: When the voices of a message are inputted, such voice data are converted into MP3 form by voice input/output terminals 1 and 2. Furthermore, a password number arbitrary for a user is added to the data converted into the MP3 form, and the data are transmitted via the Internet to a data storage device 3. Also, the password number is added, the reproduction of the message is instructed via the Internet to the data storage device 3, and the message of the MP3 form returned from the data storage device 3 is reproduced. The data storage device 3 saves the MP3 data received via the Internet on a storage medium 4 inside the data storage device 3 itself and manages the data for each password number. Thus, by having the message converted into the MP3 form and the size of data compressed, connection time at storage/ reproduction can be shortened.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 18.02.2003

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 20.12.2005

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]
[Date of extinction of right]

国際調査報告

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2002-374352
(P2002-374352A)

(43)公開日 平成14年12月26日 (2002.12.26)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	マーク一(参考)
H 04 M 3/42		H 04 M 3/42	J 5 D 0 4 5
G 10 L 19/00		3/53	5 K 0 1 5
H 04 M 3/53		11/10	5 K 0 2 4
11/10		G 10 L 9/18	J 5 K 1 0 1

審査請求 未請求 請求項の数6 OL (全5頁)

(21)出願番号 特願2001-182438(P2001-182438)

(22)出願日 平成13年6月15日 (2001.6.15)

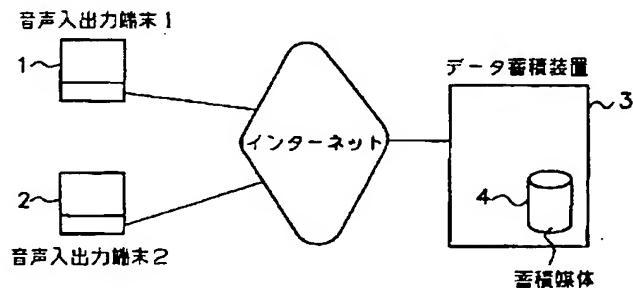
(71)出願人 000232254
日本電気通信システム株式会社
東京都港区三田1丁目4番28号(72)発明者 石井 真一
東京都港区三田一丁目4番28号 日本電気
通信システム株式会社内(74)代理人 100084250
弁理士 丸山 隆夫
Fターム(参考) 5D045 DA20
5K015 GA01 GA03
5K024 AA72 BB05
5K101 KK06 LL01 NN07 NN15 NN23

(54)【発明の名称】 留守録サービスシステムおよび留守録サービス方法

(57)【要約】

【課題】 インターネット接続の効率化およびデータ蓄積媒体の容量確保の容易性を確保した留守録サービスシステムを得る。

【解決手段】 音声入出力端末1、2は、伝言する音声を入力すると、この音声データをMP3形式に変換する。さらに、MP3形式に変換したデータにユーザ任意の暗証番号を付加し、インターネット経由でデータ蓄積装置3に送信する。また、暗証番号を付加して、インターネット経由でデータ蓄積装置3に伝言の再生を指示し、データ蓄積装置3から返送されたMP3形式の伝言を再生する。データ蓄積装置3は、インターネット経由で受信したMP3データを、自身のデータ蓄積装置3内の蓄積媒体4にて保存し、暗証番号毎に管理する。このようにして、伝言メッセージをMP3形式に変換してデータのサイズを圧縮することにより、蓄積・再生時の接続時間を短縮することが可能となる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 伝言音声メッセージの音声入出力機能を備える音声入出力端末と、前記伝言音声メッセージのデータをMP3形式に変換し暗証番号を付加して保存するデータ蓄積装置とを有し、前記音声入出力端末と前記データ蓄積装置とがインターネットを介して接続され、前記保存された前記伝言音声メッセージのデータが前記暗証番号の基に管理されることを特徴とする留守録サービスシステム。

【請求項2】 前記伝言音声メッセージの再生要求時に前記暗証番号をチェックし、正常と認識できた場合は前記データ蓄積装置からインターネット経由で前記音声入出力端末に前記MP3形式のデータが送られることを特徴とする請求項1記載の留守録サービスシステム。

【請求項3】 前記送られてきた前記伝言音声メッセージの前記MP3形式のデータは、前記音声入出力端末において再生されることを特徴とする請求項2記載の留守録サービスシステム。

【請求項4】 前記伝言音声メッセージの再生時に、前記MP3形式のデータが前記データ蓄積装置からの前記音声入出力端末へ送られ、該MP3形式のデータが前記音声入出力端末において変換し再生されることを特徴とする請求項1から3の何れかに記載の留守録サービスシステム。

【請求項5】 伝言音声メッセージの音声入出力を音声入出力端末で行い、前記伝言音声メッセージのデータをMP3形式に変換し暗証番号を付加してデータ蓄積装置で保存し、

前記音声入出力端末と前記データ蓄積装置とをインターネットを介して接続し、

前記保存された前記伝言音声メッセージのデータを前記暗証番号の基に管理することを特徴とする留守録サービス方法。

【請求項6】 前記伝言音声メッセージの再生時に前記暗証番号をチェックし、正常と認識できた場合、前記データ蓄積装置からインターネット経由で前記音声入出力端末に前記MP3形式のデータが送られ、

前記音声入出力端末に送られた前記伝言音声メッセージは、前記音声入出力端末において再生されることを特徴とする請求項5記載の留守録サービス方法。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は、留守録サービスシステムおよび留守録サービス方法に関し、特に、MP3形式で圧縮された音声データの取り扱いに係わる留守録サービスシステムおよび留守録サービス方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、留守録サービスシステムおよび留守録サービス方法は、一般に電話機に適用され用いられ

る。また、MP3形式のデータ圧縮は、音楽データの圧縮および音楽データ配信に用いられる。

【0003】 従来のインターネット利用によるMP3形式の音楽配信は、音楽配信サービスを行う側が音楽をMP3形式にてインターネットに接続される蓄積媒体に蓄積しておき、音楽を聴きたいユーザがインターネット経由でこの蓄積媒体に接続し、音楽データをダウンロードしていた。また、従来の留守録サービスは、音声データをそのまま蓄積していた。

【0004】 本発明と技術分野の類似する先願発明例1として、特開平10-333769号公報の「マルチメディアデータ配信システム及びマルチメディアデータ再生端末」がある。本先願発明例1では、再生端末が所定データの識別情報と認証情報を配信センタに送信し、配信センタは送信された認証情報をチェックして課金処理を行って金融機関に料金回収の指示を行うとともに、認証情報に対応したデータと再生後にこのデータを消滅させる付加情報を、再生端末に配信する。

【0005】 また、先願発明例2の特表平11-507456号公報の「コンピュータネットワークを介してビデオデータを配信するためのシステム及び方法」では、ローカルサイトおよび/またはリモートサイトに格納されたビデオクリップをユーザのマルチメディア端末においてユーザが要求し、再生することができるビデオクリップ記憶・再生システムを得ることを目的としている。

【0006】 **【発明が解決しようとする課題】** しかしながら、上記従来のMP3形式の音楽配信には、次のような課題がある。第1の課題は、音楽配信サービスの提供者からユーザへの一方通行のため、ユーザが任意の音声を蓄積媒体に保存することができないということである。

【0007】 第2の課題は、留守録したい音声を蓄積するためのインターネット接続時間を短縮することができず、効率的ではないということである。

【0008】 第3の課題は、留守録したい音声を蓄積するための蓄積媒体容量に対し、有効可聴データの割合が小さく、効率的ではないということである。

【0009】 本発明は、インターネット接続の効率化およびデータ蓄積媒体の容量確保の容易性を確保した留守録サービスシステムおよび留守録サービス方法を提供することを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】 かかる目的を達成するため、請求項1記載の発明の留守録サービスシステムは、伝言音声メッセージの音声入出力機能を備える音声入出力端末と、伝言音声メッセージのデータをMP3形式に変換し暗証番号を付加して保存するデータ蓄積装置とを有し、音声入出力端末とデータ蓄積装置とがインターネットを介して接続され、保存された伝言音声メッセージのデータが暗証番号の基に管理されることを特徴として

いる。

【0011】また、上記伝言音声メッセージの再生要求時に暗証番号をチェックし、正常と認識できた場合はデータ蓄積装置からインターネット経由で音声入出力端末にMP3形式のデータが送られ、この送られてきた伝言音声メッセージのMP3形式のデータは、音声入出力端末において再生され、伝言音声メッセージの再生時に、MP3形式のデータがデータ蓄積装置からの音声入出力端末へ送られ、MP3形式のデータが音声入出力端末において変換し再生されるとよい。

【0012】請求項5記載の発明の留守録サービス方法は、伝言音声メッセージの音声入出力を音声入出力端末で行い、伝言音声メッセージのデータをMP3形式に変換し暗証番号を付加してデータ蓄積装置で保存し、音声入出力端末とデータ蓄積装置とをインターネットを介して接続し、保存された伝言音声メッセージのデータを暗証番号の基に管理することを特徴としている。

【0013】また、上記伝言音声メッセージの再生時に暗証番号をチェックし、正常と認識できた場合、データ蓄積装置からインターネット経由で音声入出力端末にMP3形式のデータが送られ、音声入出力端末に送られた伝言音声メッセージは、音声入出力端末において再生されるとよい。

【0014】

【発明の実施の形態】次に、添付図面を参照して本発明による留守録サービスシステムおよび留守録サービス方法の実施形態を詳細に説明する。図1、図2および図3を参照すると、本発明による留守録サービスシステムおよび留守録サービス方法の一実施形態が示されている。

【0015】図1を参照すると、本発明を適用した留守録サービスシステムの一実施例の構成が示されている。図1において、音声入出力端末1、および音声入出力端末2、データ蓄積装置3は、インターネットに接続される。蓄積媒体4はデータ蓄積装置3内に具備される。

【0016】上記図1に示すシステムにおいて、音声入出力端末1および音声入出力端末2は、伝言を録音したいユーザが音声および暗証番号を入力する装置であり、入力された音声データをMP3形式に変換し、入力された暗証番号を付加して、インターネット経由でデータ蓄積装置3に送信する。

【0017】この音声入出力端末1および音声入出力端末2は、インターネットに接続されており、伝言する音声を入力すると、この音声データをMP3形式に変換する機能と、このMP3形式に変換したデータにユーザが任意の暗証番号を付加し、インターネット経由でデータ蓄積装置3に送信する機能と、暗証番号を付加してインターネット経由でデータ蓄積装置3に伝言の再生を指示し、データ蓄積装置3から返送されたMP3形式の伝言を再生する機能を有している。

【0018】データ蓄積装置3は、インターネット経由

で受信したMP3形式のデータを、自身が具備する蓄積媒体4にて保存し、暗証番号毎にて管理する機能を備えている。すなわち、データ蓄積装置3は、音声入出力端末1、または音声入出力端末2から受け取ったデータを、自装置内に具備する蓄積媒体4に保存し、暗証番号毎に管理する。

【0019】蓄積媒体4は、データ蓄積装置3に具備され、データ蓄積装置3の指示により、データを蓄積しておく媒体である。また、蓄積媒体4は、データ蓄積装置3の指示により、データの書き込みおよび読み出しを行う。

【0020】このようにして、本発明では、伝言メッセージをMP3形式に変換してデータのサイズを小さくすることにより、蓄積・再生時の接続時間を短縮することが可能であり、かつ、データ蓄積装置3の容量の確保を容易に可能とする。また、それぞれの伝言データに暗証番号を設け、これを、蓄積時に暗証番号付加、再生時に確認の手続きをする。このことにより、第三者による不正な伝言再生が容易に行われないようにし、機密性を確保している。加えて、音声入出力端末1、2とデータ蓄積装置3とをインターネット接続としているので、インターネットに接続可能な携帯電話などの携帯型端末を使用することにより、移動先、外出先でのデータ蓄積装置3の利用が可能である。

【0021】(実施例の動作の説明)図2、図3に動作フローチャートを示す。図1において、音声入出力端末1、および音声入出力端末2、データ蓄積装置3は、インターネットに接続される。蓄積媒体4はデータ蓄積装置3に具備される。ここでは音声入出力端末1より録音し、音声入出力端末2より再生する例をあげる。

【0022】図2は、録音動作例を示すフローチャートである。まず、ユーザが音声入出力端末1へ伝言音声を入力する(ステップS1)。音声入出力端末1は、入力された伝言音声をMP3形式に変換する(ステップS2)。音声入出力端末1は、ユーザに暗証番号を要求する(ステップS3)。ユーザは、音声入出力端末1に暗証番号を入力する(ステップS4)。音声入出力端末1は、データ蓄積装置3にMP3形式に変換した伝言音声および伝言音声の蓄積指示を、インターネット経由で送信する(ステップS5)。データ蓄積装置3は、受信したMP3形式の伝言音声を、蓄積媒体4に保存する(ステップS6)。

【0023】図3は、再生動作例を示すフローチャートである。ユーザは、音声入出力端末2に再生の要求と暗証番号を入力する(ステップS11)。音声入出力端末2は、伝言音声の再生指示と暗証番号とをインターネット経由でデータ蓄積装置3に送信する(ステップS12)。データ蓄積装置3は、暗証番号に該当する伝言音声を蓄積媒体4から読み出して、インターネット経由で音声入出力端末2に送信する(ステップS14)。音声

入出力端末2は、インターネット経由で返送されたMP3形式の伝言音声を再生する(ステップS15)。

【0024】上記の録音動作によれば、まず、留守録を行いたいユーザは、音声入出力端末1から伝言したい音声および暗証番号を入力する(ステップS1からS4)。音声入出力端末1は、入力された音声データをMP3形式に変換し、インターネット経由でデータ蓄積装置3に送信する(ステップS5)。データ蓄積装置3は、音声入出力端末1から受け取ったデータを、自身が具備する蓄積媒体4に保存し、暗証番号を基に管理する(ステップS6)。

【0025】また、再生動作によれば、留守録されたデータを再生したいユーザは、音声入出力端末2より、データ蓄積装置3に対しインターネット経由でデータの再生指示を行う(ステップS11からS15)。このとき、再生指示には再生したいデータに対応する暗証番号を付加する(ステップS11)。

【0026】再生を指示されたデータ蓄積装置3は、暗証番号の正常性を確認し、正しかった場合に蓄積媒体4より、暗証番号に対応したデータを読み出し(ステップS13)、インターネット経由で音声入出力端末2に返送する(ステップS14)。音声入出力端末2は、データ蓄積装置から送られたMP3形式の伝言を再生する(ステップS15)。なお、図1のインターネットは、一般的なインターネットの適用でよい。

【0027】上記の実施形態では、インターネットによって接続される音声入出力機能を備える端末、およびデータ蓄積装置で構成される留守番電話サービスにおいて、端末から入力された伝言音声メッセージを、MP3形式に変換し、暗証番号を付加してインターネット経由でデータ蓄積装置に保存する。さらに、伝言の再生時に暗証番号をチェックし、正常と認識できた場合、データ蓄積装置からインターネット経由で端末に送られたMP3形式の伝言音声のデータを、そのまま再生している。

【0028】(実施例の効果)以上説明したように、上記の実施例においては、以下に記載するような効果を奏する。第1の効果は、伝言メッセージをMP3形式に変換してデータのサイズを小さくしているので、蓄積・再生時のインターネット接続時間を短縮できることである。

【0029】第2の効果は、伝言メッセージをMP3形

式に変換してデータのサイズを小さくしているので、データ蓄積装置の容量の確保を容易にできることである。

【0030】第3の効果は、それぞれの伝言データに暗証番号を設け、蓄積時に暗証番号を付加し、再生時に確認することにより、第三者に容易に不正な伝言再生を行われないことである。

【0031】第4の効果は、インターネットを利用するこにより、インターネットに接続可能な携帯電話などの携帯型端末を使用することで、移動先、外出先で利用できることである。

【0032】なお、上述の実施形態は本発明の好適な実施の一例である。ただし、これに限定されるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲内において種々变形実施が可能である。

【0033】

【発明の効果】以上の説明より明らかなように、本発明の留守録サービスシステムおよび留守録サービス方法は、伝言音声メッセージの音声入出力を音声入出力端末で行い、伝言音声メッセージのデータをMP3形式に変換し暗証番号を付加してデータ蓄積装置で保存し、音声入出力端末とデータ蓄積装置とがインターネットを介して接続し、保存された伝言音声メッセージのデータを暗証番号に基づいて管理している。このため、伝言メッセージをMP3形式に変換してデータのサイズを小さくしているので、蓄積・再生時のインターネット接続時間を短縮でき、データ蓄積装置の容量の確保を容易にできる。また、それぞれの伝言データに暗証番号を設け、蓄積時に暗証番号付加、再生時に確認の手続きをすることにより、第三者に容易に伝言再生を行われない。さら

に、インターネットを利用することにより、インターネットに接続可能な携帯電話などの携帯型端末を使用することで、移動先、外出先で利用可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明を適用した留守録サービスシステムの一実施形態による構成を示すブロック図である。

【図2】録音時の動作例を示すフローチャートである。

【図3】再生時の動作例を示すフローチャートである。

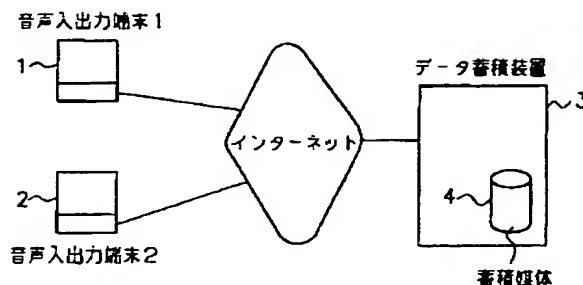
【符号の説明】

1、2 音声入出力端末

3 データ蓄積装置

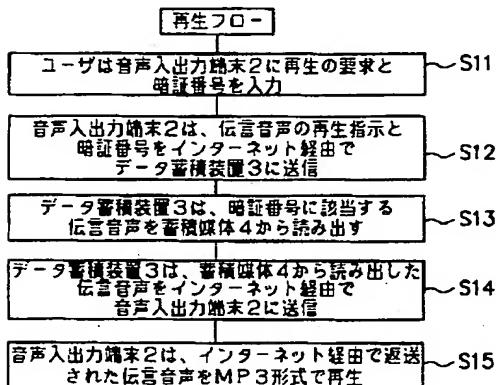
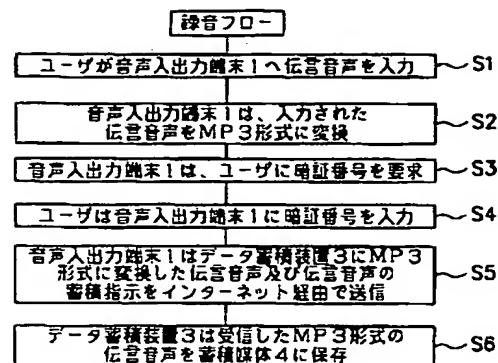
4 蓄積媒体

【図1】



【図3】

【図2】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER: _____**

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.